令和元年度　国分寺中学校　学校だより　第２４（１２月１８日）号

いしずえ

学校教育目標
・意欲をもち　自主的に学習する生徒
・人と郷土を愛し　進んで奉仕する生徒
・健康で　はつらつとした生徒

＜新入生オリエンテーション
～出番を待つ生徒会役員＞

≪やはり専門家の方の話は、ためになります！≫

この時期、本校においては、各関係専門機関のご協力により、各学年生徒の発達段階に即した、各種教室や講座等を開催しています。その主なものは、下記のとおりです。

【租税教室】
１２月１０日（火）
３年生対象
栃木税務署より
委嘱された税理士

【ＡＥＤ講習会】
12/10(火)・23(月)
２年生対象
石橋地区消防組合
消防本部

【思春期講座】
１２月１７日（火）
３年生対象
市健康増進課助産師
・保健師・心理師

【栃木地域感染制御コンソーティアム(TRICK)出張講義】
１２月１７日（火）
１年生対象
県立がんセンター
看護師

各教室・講座とも、毎年、所定の学年を対象に実施しています。そのため、生徒達は皆、中学校在学中に全ての教室・講座を体験することになります。専門家の方から、専門家だからこそ知っている貴重な話を、中学生向けに易しく話していただいてます。

≪入学予定の児童達が来てくれました！≫

１２月１２日（木）、来年度本校入学予定の児童並びにその保護者を対象に「新入生オリエンテーション」を開催し、１４８名の児童が参加してくれました。現在のところ、来年度第１学年は５学級編制となる見込みです。

当日はまず、２年生の学年合唱から始まりました。曲目は、２月の立志記念スキー学習で歌われる『ひらり､』でしたが、現在熱心に練習に取り組んでいるその成果が十分に発揮されました。続いて、学校長あいさつの後、本校生徒会役員から、「国分寺中学校の生徒としての心構え」や「中学校の１年間」、「１日の生活」等について説明がありました。同時に各学校行事や部活動等の様子を映像で流し、理解しやすい説明となるよう努めました。最後に、教務主任より「入学までの準備」や「入学式」についての話があった後、入学予定児童達は、１年生各クラスの生徒達との「授業体験」に臨みました。やや緊張した面持ちながらも、先輩達とのやり取りの中で笑顔を見ることもできました。授業終了後は解散し、各自、興味・関心のある部活動を自由に見て回る時間となりました。

＜２年生の合唱＞

＜中学生との体験授業＞

入学までには、まだ３か月余りありますが、今回の体験等により、中学校での生活を理解し、入学後の自分の姿を思い浮かべることができた児童も多かったように思います。来年４月の入学を心よりお待ちしています。

なお、この日は、本年度第３回の学校運営協議会も開催しました。まず、会議室において、校長より、前回（６月７日実施）以降の本校の教育活動や生徒たちの活躍の様子について、学校だより『いしずえ』を用いて説明を受けた後、新入生オリエンテーションを参観し、本校生徒や入学予定児童達の姿を確認していただきました。最後に、会議室に戻り、意見交換の時間となりました。学校運営協議会委員の皆様からのご意見の主なものは、下記のとおりです。 **＜学校運営協議会委員の皆様＞**

〇オリエンテーションの説明等に工夫・改善の余地がある。
- 「勉強が思い切りできる」というＰＲが必要。やはり勉強が第１に来るべきである。
- 部活動紹介の映像では、早口の生徒が多かった。ゆっくり話した方が説得力がある。そのためにも、ゆったりとした時間がもてるようにする必要がある。
- 内容の検討が必要である。「国中生が立派に生活している」様子はよく分かったが、入学予定児童の保護者の不安解消を考えるなら、学習や通学方法、入学前の準備等の説明をもっと詳しく行った方が良い。
- 説明後の質問がなかったのは、お子さんと一緒だから、発言しづらい雰囲気があったのかもしれない。児童は授業体験、保護者は説明を聞く、といったように分けると良いのでは。

〇部活動の外部指導者配置は重要であるが、慎重な配慮も必要である。
〇生徒各自の目標を記した掲示物に工夫が見られ、素晴らしかった。「１年間頑張ろう」という気になれる。
〇学級担任は、生徒指導に係る、様々な事案への対応で極めて苦労しているように思う。
【学校からの補足説明】
学級担任だけで抱え込まないよう、学年体制若しくは、管理職も含めた学校体制で対応している。また、他職員が直接関わる場合でなくても、報告・連絡・相談を密に行っている。
〇情報モラルに係る資料を載せるなら、説明も行うべきであった。
【学校からの補足説明】
確かにその通りだが、小学校においても中学校においても、児童生徒や保護者に対して、情報モラルに係る講習会開催や注意喚起の呼び掛けを頻繁に行っているという現状もある。

委員の皆様には、大変お忙しい中ご出席いただくとともに、貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。第４回は、来年２月６日（木）に開催の予定です。

≪ Pepper を用いたプログラミングは、とっても楽しかった！≫

１２月１４日（土）、南河内公民館において、「第３回下野市プログラミングコンテスト」が開催されました。本コンテストは、昨年度より市内全小・中学校において実施されるようになったプログラミング学習の成果の発表の場ともなっています。当日は、「Ａ部門小学生の部」、「Ａ部門中学生の部」、「Ｂ部門部活動の部」の３部門に分かれて、各校の代表児童生徒達が、その腕前を競い合いました。

＜参加した６名＞

＜Pepperと共に＞

本校からは、１年２組の６名の生徒達が、「Hospital　Star」というチームを組み、「Ａ部門中学生の部」に参加しました。プログラムのタイトルは「病院に貢献する Pepper」であり、「病院の運営に貢献でき、人手不足を解消し、患者さんの暇つぶしの相手もできる」という内容でした。他中学校の上級生達に交じりながら、審査の結果、同部門第２位に入賞しました。特に評価が高かった点としては、①「発表者が明るく明瞭に発声し、説得力のある発表であった」、②「イメージや図解、写真などの資料を効果的に使い、分かりやすく構成されていた」ことなどが挙げられました。

コンテストのもう１つの目的である「他校生との交流」も、互いに競い合い認め合うことで、十分に図れたようです。プログラミング学習の今後の進展に期待します。

≪緊急時の連絡について≫

本紙第４号でもお伝えしましたが、生徒が事件や事故に遭うなどして、学校職員の勤務時間外（休日を含む）に緊急に連絡をすることがあり、学校（℡.４４－００５０）に電話したがつながらなかった場合には、下野市教育委員会学校教育課 **（TEL. ３２－８９１８）** に電話をしてください。その際には、学校教育課職員若しくは警備会社を経由して、本校校長・教頭へ連絡が来るようになっています。特に、１２月２９日（日）～１月３日（金）は「年末年始学校業務休止」期間であり、その前後も土・日曜日であるため、よろしくお願いいたします。